

長野市ケア会議 報告事項

中部地域包括支援センター地域ネットワーク会議から提起された地域課題

「中山間地域での介護保険サービス（訪問入浴介護）の供給不足について」

（令和3年11月11日議題提出）

1 前回協議内容

訪問入浴介護を提供している事業所が減少し、現在、5事業所のみ。中山間地域においては、新規は対応できないと言われている。

中山間地域において、要介護3～5の認定を受け、在宅療養を続けている高齢者が、加齢による身体状況の低下により、車での長距離の移動が困難になると、通所介護（デイサービス）や短期入所療養介護（ショートステイ）で入浴支援を受けることが難しくなる。

訪問入浴介護を提供している事業所が、中山間地域に対応しやすくなるような仕組みを整備したい。

<委員より出された意見>

- ・事業所が撤退した理由や、今後の訪問入浴介護のニーズについて、確認が必要ではないか。

2 確認内容

(1) 事業所が廃止となった理由を確認

- ・1回のサービス提供に看護師1名及び介護職員2名が必要。人材確保が難しい。
- ・人件費、訪問入浴車の管理費等の支出が多く、採算が合わない。
- ・中山間地域は、半日で3件のサービス提供を実施している。これ以上は対応できない。

(2) 今後のニーズについて、中山間地域のケアマネジャーに確認

- ・地区内に入所施設がある地域においては、ニーズはない。
- ・地区内に入所施設がない地域においては、通所介護（デイサービス）等の利用ができなくなったときに、ニーズが生ずるとの回答あり。

⇒引き続き、ニーズの把握を行い、今後の対応を検討していく。